

6月7日～10日

大阪から笑顔とやすらぎを! ～福島県内の避難所へ～

6月7日から10日まで日赤大阪府支部のボランティア等31名は、原発事故のため沿岸地域から避難された方が滞在している福島県内陸部の猪苗代町と北塩原村の施設を訪問し、それぞれの技能を生かした活動を行いました。日赤大阪府支部芸能奉仕団は漫才や曲芸、歌謡ショーなどを披露して避難者に笑顔を届け、大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団は、ホットケア、化粧を含めたフェイシャルケアを行って避難者にやすらぎを届けました。



本場・大阪の漫才は大好評でした

大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

委員長 田中 啓子



未曾有の地震、津波、原発事故という三重苦を目の辺りにされ被災された方々に“心の癒し”として現地を訪れ、団員がマンパワーを発揮し活動を行いました。活動場所を後にする際にケアを受けられた避難者の方から「大阪の皆様へ ありがとうございました 忘れません」というメッセージと蓮華の花束に…「私たちこそありがとうございます」と感謝の気持ちが胸いっぱいになりました。



約200名にケアをさせていただきました



触れ合ううちに、会話も弾みます



芸を披露するたび避難者から歓声が上がりました